

各位

マネックスグループ株式会社  
代表執行役社長 CEO 松本 大  
(コード番号 8698 東証第一部)

## 第12回「ART IN THE OFFICE 2019」選出作品完成のお知らせ

マネックスグループ株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長 松本大）が、社会貢献活動並びに社員啓発活動の一環として実施している「ART IN THE OFFICE 2019」の選出作品、吉田桃子氏（“吉”は、土の下に口）の「first "I.U" zone.2」が完成したことをお知らせします。



(写真) マネックスグループ株式会社 プレスルーム (GALAXY)  
「ART IN THE OFFICE 2019」作品 吉田桃子 / 「first "I.U" zone.2」  
/2019年/ポリエステル布、アクリル絵具/サイズ可変

### ◆作品および受賞アーティスト

#### 1. 作品タイトル：「first "I.U" zone.2」吉田桃子

吉田氏は2日間にわたるマネックス社員とのワークショップを通じて、あるテーマに基づく「顔」のイメージを作り上げた後、オフィスに約1週間滞在し、社員とともに作り上げたその「顔」を巨大かつ透明感あるペインティングとして完成させました。プレスルームの壁に並んだ、デジタルディスプレイを模した横長の画面に描かれたイメージ世界は、顔のアップでありながらどこか浮遊感をまとい、仮想空間と現実空間を行き来するかのようになり、私たちの前に立ち現れます。

#### 2. 「ART IN THE OFFICE 2019」受賞アーティスト 吉田桃子氏 プロフィール



1989年兵庫県生まれ、2016年京都市立芸術大学院修士過程修了。音楽を聴いているときの高揚感や頭に浮かぶ映像的イメージを絵画の形式に閉じ込め、観る人にその高揚感を共有させる装置とする作品制作を行っている。アートアワードトーキョー丸の内2016 三菱地所賞受賞、2016年京都市立芸術大学大学院市長賞受賞。これまでの個展に、「scene UKH ver.3.1」ART ZONE/京都（2017）、「scene UKH ver.3」三菱一号館美術館歴史資料室/東京（2017）、グループ展に「Kyoto Art for Tomorrow 2019—京都新鋭選抜展—」京都文化博物館（2019）、「京芸 transmit program 2018」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA/京都（2018）などがある。

吉田桃子氏 website : <https://mt0991.wixsite.com/rainbowpicha/home>

#### 3. 吉田桃子氏コメント

今回の作品のメインになる中央の一枚は、2日間にわたる社員の方とのワークショップの中で生まれたものです。ワークショップ1日目は、「もう一人の自分」というテーマでそれぞれが「顔」を描くことから始まりました。そして、何故そのような顔になったのか、その人物の性格や環境など含め発表してもらい、参加して下さった方たちと共有しました。2日目は「マネックスのプレスルームに似合う顔」というテーマで、参

加者全員で一つの顔を作り上げるというものでした。それぞれが持っている会社のイメージや自分と会社との関わり方には、共通の部分と相反する部分があり、それらを元に設定する「見た目のイメージ」を話し合いの中で選んだり、新たな要素を足しながら一つの「顔」という造形にまとめあげていく行為は、とてもクリエイティブなものでした。また、初対面でありながら、それぞれの少しだけ深い部分に触れることができた、刺激的な時間でもありました。

最終的に絵の中に現れた人物は、ジェンダーレスかつどこかアーティスト的な雰囲気もあり、これからの時代に問いを投げかけているようにも見えます。ワークショップ、そして5日間の滞在制作の間に生まれたものが私のもとを離れ、これからこの部屋を訪れる人たちの中で生まれる、新たなストーリーのきっかけのような存在となることを願っています。

#### 4. 「ART IN THE OFFICE」プログラム

「ART IN THE OFFICE」は、現代アートが未開拓の表現を追求し、社会の様々な問題を提起する姿勢に共感し、当社を通じて新進気鋭の現代アートアーティストを支援する場づくりをしたいとの思いから、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]（以下、[AIT/エイト]）の運営協力を得て、2008年に生まれたプログラムです。受賞アーティストは当社に一定期間滞在し、社員との交流を重ねながら、オフィス空間での滞在制作を行います。公募により選出された1名（1組）のアーティストに対し、社内のプレスルームを応募作品の発表の場として約一年間提供します。選出されたアーティストには50万円の賞金および10万円の制作費が支払われる他、マネックスグループの統合報告書などへの本作品画像の掲載や、オリジナルノベルティのデザインに利用される予定です。また、受賞者には[AIT/エイト]主催「現代アートの学校 MAD 2019」の一部を無料で受講できる機会が提供されます。

本プログラムは、2019年に公益社団法人企業メセナ協議会の認定制度「This is MECENAT 2019」に選定され、2012年には公益財団法人日本デザイン振興会（JDP）が主催する「2012年度グッドデザイン賞」（Gマーク）を受賞している取組です。

今後も本プログラムを通じて、受賞アーティストの更なる活躍を期待すると共に、昨年11月に発表したブランドスローガン「For Creative Minds」に基づき、従来の枠組みを超えた新しい発想や1つの物事にさまざまな視点を持つ柔軟性を社員が養い、創造性を携えて、さらに時代をリードする形へとマネックスを前進させます。

（報道関係者様のお問い合わせ先）

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-8698

（株主・投資家様のお問い合わせ先）

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 出本、仲野 電話 03-4323-8698